

氏名	岡田 あゆみ
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第 4232 号
学位授与の日付	平成 20 年 3 月 25 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	A Study of Psycho-pathology and Treatment of Children with Phagophobia (子どもの恐食症の病態と治療に関する研究)
論文審査委員	教授 大塚 頌子 教授 黒田 重利 准教授 神谷 達司

学位論文内容の要旨

恐食症は、嘔吐や窒息を契機に発生し、摂食への過剰な恐怖を呈することが特徴の疾患である。小児期には、感染症や食べ過ぎなどの結果しばしば嘔吐を経験し、この苦痛を伴う体験が拒食のような不適切な食行動の誘因になることがある。恐食症については報告が少なく、患者は時に神経性無食欲症と誤診されていることもあり注意が必要である。

本研究の目的は、自験例 6 症例の検討を行い、恐食症発症の心理的な病態と適切な治療を明らかにすることである。患児の性格傾向として強迫性が強い場合は治療に抵抗性であり、病前性格の検討は予後予測に有用と考えた。また、発症の経過から「心的外傷タイプ」と「疾病利得タイプ」に分類して治療計画を立てることが重要であった。なお、解決志向アプローチの技法の一つである「例外さがし」は、いずれの症例に対しても有効であった。小児科領域では、摂食障害以外の食行動異常に遭遇することがあり、恐食症という疾患概念は診断上有用と考えた。

論文審査結果の要旨

小児の食行動異常の包括的臨床的検討により、これを摂食障害とその他の食行動異常に分類し、本研究では後者の中の恐食症に焦点を当てて、その心理的な病態と適切な治療について検討した。その結果、予後予測と治療の立案に有用ないくつかの事項を見だし、具体的治療法についても明らかにした。これらの結果は小児の食行動異常の診療上きわめて有用であり、価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。